

2016年5月27日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(旭川地区)
(2016年7月検針分)

旭川ガス株式会社

当社では、本日確定した2016年2月から2016年4月の平均原料価格に基づき、2016年7月検針分のガス料金(単位料金)を、2016年6月検針分に比べ1m³あたり-2.94円(税込)下方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり15m³ご使用)への影響は、2016年6月検針分と比較して、44円の引き下げとなります。

なお、平成24年10月1日から実施されております「地球温暖化対策のための石油石炭税」の税額が変更となりました。それに伴い7月検針分より、税率変更相当額分の1m³あたり0.21円(税込)を加算した新ガス料金(単位料金)に基づき算定しています。

○一般契約料金

(消費税込)

| | 使用量区分 | 基本料金 (円/月) | 単位料金(円/m ³) | | 影響額 (円/m ³) |
|------|--|---------------|-------------------------|--------|----------------------------|
| | | | 7月 | 6月 | |
| 料金表A | 0m ³ から 18m ³ まで | 860.76 | 170.37 | 173.31 | -2.94 |
| 料金表B | 18m ³ を超え139m ³ まで | 1,456.92 | 137.98 | 140.92 | -2.94 |
| 料金表C | 139m ³ を超える場合 | 1,949.40 | 134.44 | 137.38 | -2.94 |

(注)各月のご使用量に応じて、A～Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヶ月のご使用量 | 7月のガス料金 | 6月のガス料金 | 影響額 |
|------------------|---------|---------|-------|
| 15m ³ | 3,416 円 | 3,460 円 | -44 円 |

(注)標準家庭のガス使用量は、平成23年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

*ガス料金の計算方法

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金 (税込)} + \left(\text{単位料金 (基準単位料金(税込) + 原料費調整による調整額(税込))} \right) \times \text{使用量}$$

(円未満切り捨て)

<参考資料>

1.平均原料価格について

<平均原料価格の算出式>

$$\begin{aligned} \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格} \times 0.9788 + \text{プロパン平均価格} \times 0.0233 \\ &= \underline{42,480} \text{ (円/t)} \times 0.9788 + \underline{39,600} \text{ (円/t)} \times 0.0233 \\ &= \underline{42,500} \text{ (円/t)} \text{ (10円未満四捨五入)} \end{aligned}$$

■原料価格の動向

(円/t)

| | 2016年2月～2016年4月 (7月検針分) | 2016年1月～2016年3月 (6月検針分) | 基準平均原料価格 |
|----------|----------------------------|----------------------------|----------|
| 平均原料価格 | 42,500 | 46,070 | 50,150 |
| LNG平均価格 | 42,480 | 46,040 | |
| プロパン平均価格 | 39,600 | 43,300 | |

$$\begin{aligned} \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ &= \underline{42,500} \text{ (円/t)} - \underline{50,150} \text{ (円/t)} \\ &= \underline{-7,600} \text{ (円/t)} \text{ (100円未満切捨て)} \end{aligned}$$

2.単位料金の調整について

<単位料金の算出式>

$$\begin{aligned} \text{単位料金} &= \text{基準単位料金} + \text{単位料金調整額} \\ \text{単位料金調整額} &= 0.081 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \text{原料価格変動額} \text{ / } 100 \text{ (円/t)} \times (1+\text{消費税率}) \\ &= 0.081 \text{ (円/m}^3\text{)} \times \underline{-7,600} \text{ (円/t)} \text{ / } 100 \text{ (円/t)} \times 1.08 \\ &= \underline{-6.65} \text{ (円/m}^3\text{)} \text{ 小数点第3位以下の端数切上げ} \end{aligned}$$

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1m³あたり0.081円調整します

(円/m³)

| | 基準単位料金 | 単位料金調整額 | 7月単位料金 |
|------|--------|---------|--------|
| 料金表A | 177.02 | | 170.37 |
| 料金表B | 144.63 | -6.65 | 137.98 |
| 料金表C | 141.09 | | 134.44 |

(消費税込)

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(50,150円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m³あたり0.081円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が80,240円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は80,240円としてガス料金の調整を行います。